

2023年3月11日 国際交流基金関西国際センター25周年記念シンポジウム
「外国人材の受け入れ・共生のための日本語教育支援—海外での支援から国内へ—」

「海外の外国人材向け日本語教育支援から、国内の日本語教育への活用について考える」

就労者の日本語教育支援

近藤 彩
昭和女子大学/昭和女子大学大学院
a-kondoh@swu.ac.jp

1

1

国内・海外の教育実践や職場をつなぐリソース

2

2

外国人の就労/受け入れの様子

Easy Japanese for Work
(月) 午前9:45~10:00 ほか
日本社会で外国人材の受け入れが拡大する中、職場などで使える日本語に的を絞り、日本で働きたい人を応援します。実際に外国人を採用している企業を徹底リサーチし、実践的な“日本語のツボ”を伝えます。

<https://www3.nhk.or.jp/nhkworld/en/tv/easyjapaneseforwork/>
(学習コンテンツ: 多言語対応 やさしいにほんごを含む)

<https://www3.nhk.or.jp/nhkworld/en/ondemand/program/video/easyjapaneseforwork/?type=tvEpisode&>
(15分番組 オンデマンド
多言語対応: 英語、中国語、ベトナム語、ビルマ語、ポルトガル語版あり)

3

3

EJW (しごとのにほんご) 活用

- ・職場で取材: 外国人材(人財)の活躍、日本人社員との交流、しごとの様子、難しいコミュニケーションの提示、他
- ・ロールプレイの活用/フィードバック、適切さにもとづく表現のバリエーション
- ・会社のルールや習慣、個人の趣味や楽しみ、生活者としての一面を紹介、仕事に役立つ漢字の紹介
- ・教材(Webコンテンツ)には、番組でていた表現やビジネス用語等の説明付き
- ・多言語対応 + やさしいにほんご
- ・教師養成でも活用可能

4

4

日本語教育・国内の企業研修・大学の授業で使用

【ケース例】
「表情が見えない会議なんて」
「ほう・れん・そう!？」
「空気を読んで!？」

仕事場面のコンフリクトを教材化→問題発見解決

1

2

3

ビジネスコミュニケーションのためのケース学習
職場のダイバーシティで学び合う
【教材編】
近藤彰・金孝徳・ムグダヤルディー・橋本直佳・池田裕子

ビジネスコミュニケーションのためのケース学習
職場のダイバーシティで学び合う
【教材編2】
近藤彰・金孝徳・池田裕子

「異文化」トラブル解決のヒント!
日本人も外国人もケース学習で学ぼう
ビジネスコミュニケーション
金孝徳 近藤彰 池田裕子 著
「ニューノーマル」な働き方も含めた12の事例で相互理解へ
「タスク」を通して多様な視点を体験!
近藤彰・金孝徳・池田裕子

5

5

ケース学習とは

事実に基づくケース（仕事のコンフリクト）を題材に、設問に沿って参加者（学習者）が協働でそれを整理・話し、仕事場면을疑似体験しながら問題解決方法を導き出し、最後に一連の過程について内省を行うところまでの学習である。（近藤2015：6）

6

6

ケース教材

私（マハ）は日本のIT企業に勤めて1年になります。日本の企業で働くことはなかなか大変です。先週の茶会もこのようなことがありました。

私は、夕方5時に上司の山平さんに呼ばれました。そして、朝日までに発注データを処理しておくようにと言われました。私は「はい、わかりました」と返事をして席を降り、その日は6時まで仕事をしなくてはならなかった。

すぐに仕事を始めることに決めたので、時計を見てみると、まだ9時半です。

私は山平さんの行動が山平さん自身も信じられなくなりました。でも山平さんは私の真逆の上司です。これから私はどうすればいいのでしょうか。

Copyright© Aya-Kondoh. All Rights Reserved.

7

7

ケース学習

- + 問題解決力、協働力、異文化調整力の育成
- + すべて国内外でのインタビューを実施しケース教材を作成
- + ロールプレイから見る能力記述/Can-do（近藤2022）
- + 初級の企業研修で使用（品田2022）
- + MBA入学前準備コース（中国）/MBAコースでの活用（日本、フランス、オランダ他）
- + 日本企業でのインターンシップ準備として現地で活用
- + 日本の事例からの学び（バンララデシュ大学（院）・ベトナム・マレーシア他）
- + 共授授業・協働型研修（日本）
- + 社内・異業種研修で活用（日本）
- + 複言語主義（フランスのMBAで英語・日本語で実施、ベトナムでベトナム語で実施）

8

8

経産省と共同開発した動画と手引き・調査結果

「日本人社員も外国籍社員も職場でのミスコミュニケーションを考える」

+ 動画教材及び学びの手引き

<<https://www.meti.go.jp/press/2021/04/20210426003/20210426003.html>>

■METIチャンネル (YouTube)

★動画教材 外部リンク
<<https://www.youtube.com/playlist?list=PLcRmz7bR5W3kCaWuRjnba0HVNwg4BPqsk>>

9



経済産業省との共同開発
49本の動画 (含解説)

- 1 01 有識者インタビュー (metichannel) 6:40
- 2 02 企業インタビュー (株式会社ユニマツ) (metichannel) 5:11
- 3 03 企業インタビュー (株式会社夢テクノロジ) (metichannel) 4:08
- 4 1.1 5分前行動 (問題) (metichannel) 0:22
- 5 1.1 5分前行動 (解説) (metichannel) 0:48
- 6 1.2 定時退社 (問題) (metichannel) 0:37
- 7 1.2 定時退社 (解説) (metichannel) 0:48
- 8 1.3 チームでの仕事 (問題) (metichannel) 0:31
- 9 1.3 チームでの仕事 (解説) (metichannel)

- 10 1.4 資料の様式 (問題) (metichannel) 0:37
- 11 1.4 資料の様式 (解説) (metichannel) 0:48
- 12 2.1 いいよ、大丈夫 (問題) (metichannel) 0:37
- 13 2.1 いいよ、大丈夫 (解説) (metichannel) 0:48
- 14 2.2 仕事の締切 (問題) (metichannel) 0:32
- 15 2.2 仕事の締切 (解説) (metichannel) 0:32
- 16 2.3 仕事の目的 (問題) (metichannel) 0:34
- 17 2.3 仕事の目的 (解説) (metichannel) 0:34
- 18 2.4 わかりました (問題) (metichannel) 0:37
- 19 2.4 わかりました (解説) (metichannel) 0:48
- 20 3.1 注意の仕方 (問題) (metichannel) 0:42

10

<動画教材>




<学びの手引き>





←企業での調査結果も掲載

11

雇用している外国人の日本語能力の向上のために

就労場面に必要な
日本語能力の
目標設定ツール

内閣府・厚生労働省の協力で
使い方の手引き



言語活動	レベル	就労 Can do (めやす)
話すこと (やりとり)	A1	職場内のいつも接している相手と：ゆっくりとした繰り返し、言い換え、言い直しをしながらであれば；簡単なやりとり（あいさつ）、簡単な質疑応答（自己紹介や身近な話題について）をすることができる。
話すこと (やりとり)	A2.1	職場内で；仕事上の簡単な情報交換で済む日常の話題ならば；コミュニケーションをとることができる（非常に短い社交的なやりとりには対応できるが、自分から率先して会話を進められるほどの力はない。）
話すこと (やりとり)	A2.2	社内の関係部署の人と；担当者間ミーティング等の短いやりとりで、ときどき上司や同僚が助けられるならば；比較的容易に会話することができる。
話すこと (やりとり)	B1.1	社内外の人と；非常に典型的な日常の話題ならば；自身の考えや情報を交換し、質問に答えることができる。
話すこと (やりとり)	B1.2	社内外の人と；仕事に関連のある身近な事柄や一般的なニュースの話題ならば；個人的な意見を表明したり、情報を交換したりすることができる。
話すこと (やりとり)	B2.1	社内外の人と；担当領域に関連したことであれば；解決すべき事柄について話し合いをすることができる。情報を交換したり、チェックしたり、確認したりすることができる。
話すこと (やりとり)	B2.2	社内外の人と；日本語者を相手に、一般的な事柄について、ストレスを感じさせることなく、流暢に会話をすることができる。重要なことを強調したり情報を示したりして、自分の考えをはっきりと説明し、主張することができる。

厚生労働省委託事業 「令和二年度 厚生労働省委託事業 調査研究会「就労場面における外国人材の日本語コミュニケーション能力評価ツールの作成」 (2021年3月)
https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage_18220.html

12

就労場面で必要な日本語能力の 目標設定ツールとは

- + 日本国内の企業等において、企業の方が外国人従業員とコミュニケーションを図りながら、就労場面に必要な日本語能力の育成（達成）目標を相互に設定・共有したり、相互に確認したり、時には評価するのに活用できるものです（p.7）。
- + 「就労Can doリスト（めやす）」、49項目からなる「就労場面における日本語能力：参照表」「使い方の手引」がダウンロード可能

https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage_18220.html

13

13

本ツールのレベル設定

A1	A2.1	A2.2	B1.1	B1.2	B2.1	B2.2
基礎段階の言語使用者			自立した言語使用者			

- ・ 7つの言語行動：聞くこと、読むこと、話すこと（2種）、書くこと、オンライン、仲介（橋渡し）
- ・ A2レベル、B1レベル、B2レベルを調査結果により細分化

14

14

■企業における本ツールの使用例（これから外国人従業員を受け入れる職場）

- キーワード：就労場面における日本語能力の目標設定ツール、受入環境整備、日本語話者の従業員による配慮
- ツールを活用した、職場における外国人従業員の受入環境整備（※1）
 1. 在留資格や従事できる業務、時間など、基本的な条件等について、受け入れる職場（関わる人）全体で確認する。
 2. 外国人従業員が従事する予定の職務を分析する（※2）
 3. 業務目的を達成するために、どのようなコミュニケーションが生じるか
 4. そのコミュニケーションを行うときに、どのような人と関わることになるのか
 5. 話せることは必要か、聞いたり読んだりして業務に必要な行動を起こせば十分か
 6. ともに働くスタッフが配慮しなくてはならないことは何か（職場環境、文化的配慮、従事する年限に合わせた短期または中・長期の育成など）
 1～6を踏まえてツールを参照し、外国人従業員が目標とする言語活動とレベルを参考にしながら、言語活動を支援するために日本語話者の従業員が配慮すべきポイントを確認する。

https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage_18220.html

15

15

（参考）CEFRの理念を踏まえた教材



- ・ 就活+企業に入ってから活躍に主眼
- ・ Can-doの整備（初版2012、2018）
- ・ B2を目指したもの（企業では初級研修から使用）
- ・ 日本語を用いて考える、分析をする、調べる、プレゼンをする、関係を構築する等、課題（タスク）を通じて日本語でできることを増やす
- ・ 豊富なインプット→アウトプットへ
- ・ 教科書暗記だけでは身に付かない力を養う
- ・ 多様なコミュニケーションを通じて協働力を養う
- ・ 学びの場で複言語・複文化をいかす
- ・ 関係作り、活躍・協働の場を作る

16

16

教師研修からの主な知見・課題

- + 教材の整備の必要性
 - + リソースを適切に使える教師の育成
 - + 教師の苦手項目の克服
 - + 教師間の協働（授業内・授業間）
 - + 教師コミュニティの整備・活用
 - + 海外では特にハブとしての現地コーディネータの役割が重要
 - + SJ指導者（就労者向け日本語教育の指導者）の育成
 - + SJ Can-doの活用
 - + ファシリテーション力の必要性 など
- (近藤・桑原・NGUYEN・DANG・池田2021、神村・池田・近藤2022、多田・近藤2022 他)

17

SJ指導者

国内外で働く外国人が増える中で、この分野の日本語教育・研修に携わる専門家が必要とされています。このような専門家を「就労者に対する日本語教育指導者（略称：SJ指導者）」と呼びます。

SJ指導者Can-do Statements

SJ指導者には、日本語教育だけでなく、企業活動とコミュニケーション教育に関する幅広い分野の知識や経験、そして、異なる立場の人々と信頼関係を築き、協働して教育実践や研修が実施できる力が求められます。そこで、SJ指導者に求められる力を可視化するために、SJ指導者Can-do statementsを開発しました。

7分野 主要33項目（詳細下位項目合計115項目）

指導者の能力の抽出・整理

<https://www.bpcts.org/sj/E6%8C%87%E5%B0%8E%E8%80%85cnds/>

（科学研究費による助成研究）（品田・近藤 他 2020）

18

18

各項目について以下を基準に自己評価をしてください。
◎ よくできる ○ できる △ あまりできない × 全くできない

分野	主要 Cds	評価
1 背景	1 企業活動に関する社会・経済的背景を理解できる	
	2 就労者の置かれた社会的状況を理解できる	
	3 就労者に対する日本語教育の在り方を理解できる	
	4 企業の活動の概要が理解できる	
2 職務	5 学習者の職務の概要が理解できる	
	6 学習者の業務環境が理解できる	
	7 発音の学習をデザインできる	
3 言語教育	8 語彙の学習をデザインできる	
	9 教授・採活の点を抽出できる	
	10 評価方法及び基準を設定できる	
	11 学習者の日本語力を判定できる	
	12 適切な学習項目を選定できる	
	13 適切な教材を選定・作成できる	
	14 適切な教室活動を計画・実行できる	
15 タスクデザインができる		
4 異文化	16 職場における異文化間問題が理解できる	
	17 職場における異文化間問題への解決策を検討できる	
	18 日本語教育・研修のニーズがわかる	
	19 ニーズ分析に基づいて、日本語教育・研修の目標設定ができる	
5 コースデザイン	20 日本語教育・研修の実施計画を立てることができる	
	21 コースの概要を関係者にお知らせできるように説明できる	
	22 経費支援のコースデザインができる	
	23 企業研修のコースデザインができる	
	24 個人の学習者の職務遂行に特化したコースデザインができる	
	25 ビジネススキルに特化したコースデザインができる	
6 職場デザイン	26 実施計画のデザインができる	
	27 日本人社員に対する指導・研修ができる	
	28 コース実施中の進捗管理ができる	
7 コース運営	29 日本語研修の評価ができる	
	30 現状に臨機応変に対応できる	
	31 日本語研修事業の評価・改善ができる	
	32 日本語研修の報告が書ける	
	33 「指導者コミュニティ」に参加・運営できる	

SJ（就労者向け） 指導者Can-do

33項目

<https://www.bpcts.org/>

それぞれいくつありましたか？ ◎ ○ △ ×

19

19

ご清聴ありがとうございます
ございました

科研費（B）「外国人労働者の定着促進のための協働型受け入れ環境の構築」（研究代表者：近藤彩）（20H01274）の助成を得ています。

20

20

主な参考文献

- NHK WORLD 「Easy Japanese for Work しごとのにほんご」
学習コンテンツ <https://www3.nhk.or.jp/nhkworld/en/tv/easyjapaneseforwork/>
オンデマンド <https://www3.nhk.or.jp/nhkworld/en/ondemand/program/video/easyjapaneseforwork/?type=tvEpisode&>
- 池田玲子・館岡洋子 (2022) 『ピア・ラーニング入門 創造的な学びのデザインのために』改訂版、ひつじ書房
- 池田玲子・館岡洋子・近藤彩・金孝卿 (2022) 『協働が拓く多様な実践』ココ出版
- 神村初美・池田玲子・近藤彩 (2022) 「ベトナムの日本語教育における協働学習を用いた長期型教師修一ハブとしての現地コーディネータの役割」『日本語研究』第42号
- 金孝卿・近藤彩 (2017) 「人材育成を目指すビジネスコミュニケーション教育」『日本語教育通信 日本語・日本語教育を研究する第44回』国際交流基金 <https://www.jpf.go.jp/j/project/japanese/teach/tsushin/research/201702.html>
- 金孝卿・近藤彩・池田玲子 (2020) 『"異文化トラブル解決のヒント"日本人も外国人もケース学習で学ぶビジネスコミュニケーション』日経HR
- 経済産業省 (2021) 『日本人社員も外国籍社員も 職場でのミスコミュニケーションを考える』～動画教材を使った対話による学びの手引き～ <https://www.meti.go.jp/press/2021/04/20210426003/20210426003.html>
- 厚生労働省 (2020) 『就労場面で必要な日本語能力の目標設定ツール』 https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage_18220.html (2023年3月8日)

21

21

- 近藤彩 (2005) 『ビジネスにおける異文化間コミュニケーション—日本語での会議は非効率か』『講座社会言語科学1 異文化とコミュニケーション』井出祥子・平賀正子編 40-60、ひつじ書房
- 近藤彩 (2007) 『日本人と外国人のビジネス・コミュニケーションに関する実証研究』ひつじ書房
- 近藤彩 (2018a) 「日本語教育関係者と企業関係者における異業種の協働——企業研修を行う講師育成プログラムの開発——」BJジャーナル、ビジネス日本語研究会 http://business-japanese.net/archive/BJ_Journal/BJ001/001_04_Kondo.pdf
- 近藤彩 (2018b) 「職場とつながるライティング教育 相互理解・問題解決・協働を可能にするケース学習」『大学と社会をつなぐライティング教育』村岡貴子他編著、177-196、くろしお出版
- 近藤彩 (2019) 「高度人材としての外国人の活躍と日本語教育の役割」『日本言語文化研究会論集』15、1-14、国際交流基金・政策研究大学院大学
- 近藤彩 (2020) 「企業の求めるビジネスコミュニケーション能力—外国人と働く環境整備に向けて日本語教育ができること—」『日本語学』42-54、明治書院
- 近藤彩・金孝卿 (2010) 「「ケース活動」における学びの実態—ビジネス上のコンフリクトの教材化に向けて—」『日本言語文化研究会論集』6、15-31、国際交流基金・政策研究大学院大学 <http://www3.grips.ac.jp/~jlc/files/ronshu2010/Kondoh%20Kim.pdf>
- 近藤彩・金孝卿 (2014) 「グローバル時代における日本語教育：プロセスとケースで学ぶビジネスコミュニケーション」National Symposium on Japanese Language Education 2012、103-115、<https://nsjle.org.au/nsjle/media/2012-NSJLE-Proceedings-All.pdf>

22

22

- 近藤彩・金孝卿・ムグダヤルディー・福永由佳・池田玲子 (2013) 『ビジネスコミュニケーションのためのケース学習 職場のダイバーシティで学び合う【教材編】』ココ出版
- 近藤彩・金孝卿・池田玲子 (2015) 『ビジネスコミュニケーションのためのケース学習 職場のダイバーシティで学び合う【解説編】』ココ出版
- 近藤彩・金孝卿・池田玲子 (2019) 『ビジネスコミュニケーションのためのケース学習 職場のダイバーシティで学び合う【教材編2】』ココ出版
- 近藤彩・桑原和子・NGUYEN THI HUONG TRA・DANG THAI QUYNH CHI・池田玲子 (2021) 「活動型ビジネス日本語教育への展開と課題 —ベトナム人教師研修の観点から—」『専門日本語教育研究』第23号、91-98、専門日本語教育学会
- 近藤彩・品田潤子・金孝卿・内海美也子 (2018) 『課題達成のプロセスで学ぶビジネスコミュニケーション<改定新版>』ココ出版
- 近藤彩・戸崎典子・池田玲子・金子壮太郎 (2019) 「企業関係者と日本語教育関係者の協働による外国人エンジニアのための環境整備—企業研修を中心に—」2019年度日本語教育学会春季大会【予稿集】53-62、https://www.nkq.or.jp/event/assets/shunki-taikai_2019_18.pdf
- 品田潤子・近藤彩・金孝卿・倉本文子 (2020) 「就労者に対する日本語教育における人材育成の課題—指導者Can-do Statementsの記述と活用を通して—」2020年度日本語教育学会春季大会【予稿集】
- 多田苗美・近藤彩 (2022) 「ケース学習におけるファシリテーション—教師発話に着目して—」『専門日本語教育研究』第24号、35-42、専門日本語教育学会

23

23